

(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

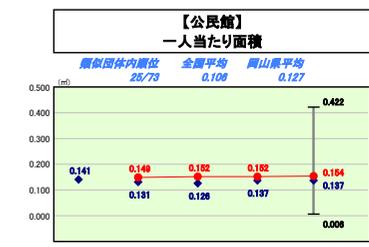
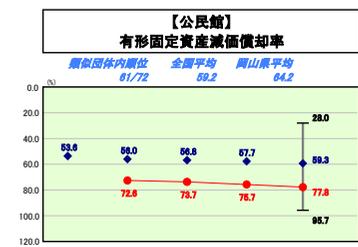
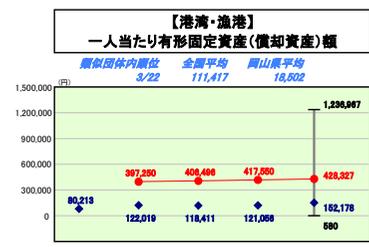
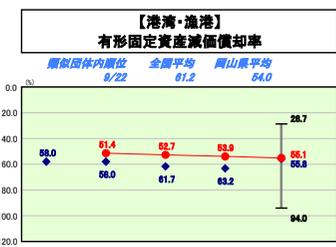
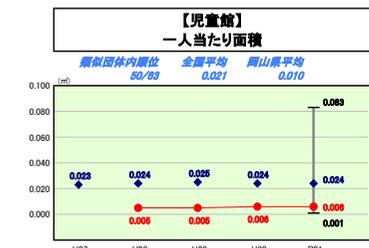
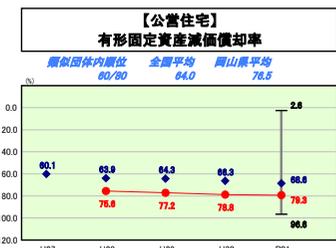
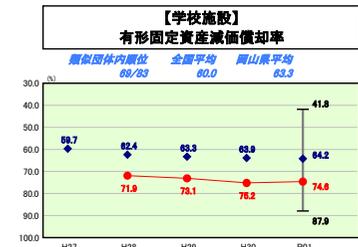
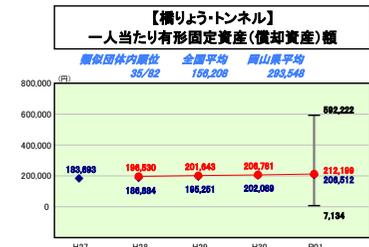
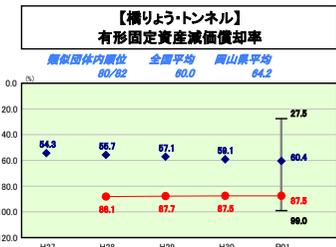
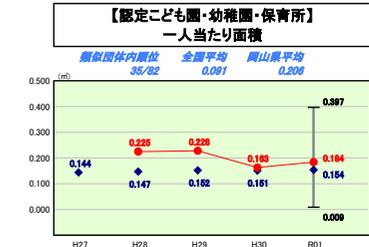
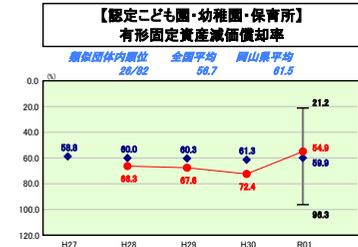
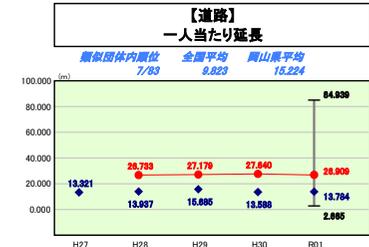
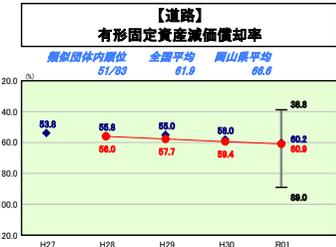
令和元年度

岡山県笠岡市

人口	47,923	人(92.11歳)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	47,379	人(92.11歳)	高齢実質赤字比率	-	%
面積	136.24	km ²	実質公債費比率	6.8	%
歳入総額	24,372,889	千円	将来負担比率	63.7	%
歳出総額	23,816,838	千円	市町村類型	H27 II-2 H28 II-2 H29 II-2	
実質収支	503,898	千円	(年度毎)	H30 II-2 R01 II-2	
標準財政規模	12,064,920	千円			
地方債残高	28,905,280	千円			

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ⊥ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答があった団体に関するもの。



施設情報の分析

類似団体と比較して、有形固定資産減価償却率ほぼ全ての施設において、平均より高い数値となっている。
 インフラ資産については、本市の財政事情により、維持補修・オーバーレイ等での対応が中心であり、これが有形固定資産減価償却率を引き上げる要因となっている。
 特に橋りょう・トンネルについては高い数値となっているが、策定済みの橋梁長寿命化計画・トンネル長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理を進めているところである。
 ハコモノ施設においては、耐用年数を経過するような施設が多くあり、老朽化が進んでいるため有形固定資産減価償却率が高くなっている。
 ハコモノ施設のうち、市営住宅については、平成26年3月に笠岡市公営住宅等長寿命化計画を策定、また、学校施設については、平成26年2月に学校規模適正化計画基本方針を公表しており、その計画及び方針に基づき、公営住宅・小中学校の統合を計画的に進めることとしている。